

第12回 RCGM フロンティア国際シンポジウム — ゲノム医学の進歩と次世代技術 —

プログラム

(講演は原則として英語で行います)

1 日目 (2014年10月31日) 12:30 ~ 18:45

開会の辞

12:30 ~ 12:35

岡崎 康司 (埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 所長)

一般演題

12:35 ~ 14:35

一般演題セッション I

12:35 ~ 13:30

座長: 浅原 弘嗣 先生、Heonjoong Kang 先生

演題1 堀江 公仁子 (ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門)
RNAシーケンスにより同定された乳がん増殖を調節する長鎖非コードRNA

演題2 平崎 正孝 (ゲノム医学研究センター・発生・分化・再生部門)
Nanog は、Max 非結合型 Myc によるアポトーシスを抑圧するか?

演題3 吉田 哲 (ゲノム医学研究センター・遺伝子治療部門)
ヘルパー依存型アデノウイルスベクターと CRISPR/Cas9 システムを組み合わせたヒト ES/iPS 細胞の
高効率な遺伝子改変技術の確立

演題4 水野 洋介 (ゲノム医学研究センター・ゲノム科学部門)
統合的トランスクリプトーム解析で明らかにする脂肪・骨芽細胞分化調節メカニズム

演題5 大澤 賢次 (ゲノム医学研究センター・病態生理部門)
異所性骨化の新たな *in vivo* 実験モデルの作製

演題6 仲地 豊 (ゲノム医学研究センター・TR部門)
マウス骨髄由来間質系細胞 ST2 の脂肪細胞/骨芽細胞分化における機能性アンチセンス転写物の同定

演題7 藤本 健太 (ゲノム医学研究センター・遺伝子構造機能部門)
RNA 結合タンパク質 TLS のアルギニンメチル化を介した cyclin D1 プロモーター由来長鎖非コード
RNA による転写制御機構の解明

【休憩

13:30 ~ 13:45】

一般演題セッション II

13:45 ~ 14:35

座長: 田中 知明 先生、金木 正夫 先生

演題8 柴 祥子 (ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門)
ビタミン K 依存 γ -グルタミルカルボキシラーゼの骨ならびに糖代謝における役割

演題9 片野 幸 (ゲノム医学研究センター・発生・分化・再生部門)
マウス ES 細胞において Nucleostemin ノックアウトによる未分化性の消失と細胞死は Nanog もしくは Esrrb タンパク質強制発現により回避される

演題10 松本 征仁 (ゲノム医学研究センター・ゲノム科学部門)
膵内分泌細胞の運命決定因子の同定のためのスクリーニングシステム

演題11 米田 竜馬 (ゲノム医学研究センター・遺伝子構造機能部門)
プロモーター由来非コード RNA の機能に対する RNA メチル化の効果

演題12 水野 由美 (ゲノム医学研究センター・TR部門)
ペルオキシソームの脂質代謝異常を起こす Tysnd1 欠損マウスのミトコンドリア機能の解析

演題13 重川 崇 (国際医療センター・乳腺腫瘍科)
エストロゲン応答遺伝子 EBAG9 は乳癌におけるタモキシフェン治療抵抗性に関与する

【休憩 14:35 ~ 14:45】

卒後教育委員会後援学術集会 14:45 ~ 16:15

講演1 14:45 ~ 15:30

座長：三谷 幸之介

浅原 弘嗣 先生
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 システム発生・再生医学分野)
ゲノム編集技術による軟骨発生メカニズムと関節炎の解析

講演2 15:30 ~ 16:15

座長：黒川 理樹

田中 知明 先生
(千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学 内分泌・代謝・血液内科)
メタボロームとトランスクリプトーム解析による癌抑制遺伝子p53機能の最前線

【休憩 16:15 ~ 16:25】

招待講演 16:25 ~ 17:55

招待講演1 16:25 ~ 17:10

座長：井上 聡

金木 正夫 先生
(ハーバード大学医学部 麻酔学教室)
システインSH基の翻訳後修飾による炎症反応の増幅機構

招待講演2 17:10 ~ 17:55

座長：片桐 岳信

Heonjoong Kang先生
(ソウル国立大学 地球環境科学部 海洋天然産物・創薬センター)
Metabolic reprogramming of mice through chemistry

授与式 17:55 ~ 18:00

岡崎 康司 所長

ポスターセッション 18:00 ~ 18:45

エントランス・ロビー

2 日目 (2014年11月1日) 9:30 ~ 17:50

ゲノム医学研究センター (RCGM) の紹介
9:30 ~ 9:45

岡崎 康司 所長

RCGM 部門研究講演 9:45 ~ 12:00

部門研究講演1 9:45 ~ 10:05

座長：片桐 岳信

奥田 晶彦 (発生・分化・再生部門)
Max の減数分裂における役割

部門研究講演2 10:05 ~ 10:25

座長：奥田 晶彦

三谷 幸之介 (遺伝子治療部門)
ヒト幹細胞におけるゲノム編集技術の改良

部門研究講演3 10:25 ~ 10:45

座長：井上 聡

黒川 理樹 (遺伝子構造機能部門)
長鎖非コード RNA エピジェネティクスの新展開

【休憩 10:45 ~ 11:00】

部門研究講演4 11:00 ~ 11:20

座長：岡崎 康司

井上 聡 (遺伝子情報制御部門)
ホルモン応答遺伝子・ノンコーディングRNAを標的としたがん治療

部門研究講演5 11:20 ~ 11:40

座長：黒川 理樹

片桐 岳信 (病態生理部門)
運動器とTGF- β ファミリー

部門研究講演6 11:40 ~ 12:00

座長：三谷 幸之介

岡崎 康司 (ゲノム科学部門・TR 部門)
次世代医療を指向するトランスレーショナルゲノム医学
-ミトコンドリア病を中心としたクリノミクス-

ポスターセッション 12:00 ~ 13:00

エントランス・ロビー

特別講演**13:00 ~ 17:15****特別講演 1****13:00 ~ 13:45**

座長：三谷 幸之介

深水 昭吉 先生
(筑波大学大学院 生命環境科学研究科生命環境学群 生物資源学類)
メチル化制御と遺伝子発現

特別講演 2**13:45 ~ 14:30**

座長：黒川 理樹

Edwin Cheung 先生
(マカオ大学・健康科学学院)
Global view of steroid hormone signaling in cancer cells

【休憩**14:30 ~ 14:45】****特別講演 3****14:45 ~ 15:30**

座長：奥田 晶彦

萩原 正敏 先生
(京都大学大学院 医学研究科 形態形成機構学)
先天性難治疾患の治療を可能にするトランスクリプトーム創薬戦略

特別講演 4**15:30 ~ 16:15**

座長：岡崎 康司

László Nagy 先生
(Sanford-Burnham 医学研究所 ゲノム代謝制御プログラム)
Genomic control of nuclear receptor mediated signaling in cell types associated with metabolic diseases and chronic inflammation

【休憩**16:15 ~ 16:30】****特別講演 5****16:30 ~ 17:15**

座長：井上 聡

宮園 浩平 先生
(東京大学大学院医学系研究科 分子病理学)
がん制御におけるTGF- β ファミリーシグナル

授与式**17:15 ~ 17:20**

岡崎 康司 所長

閉会の辞**17:20 ~ 17:35**

山内 俊雄 名誉学長

記念撮影**17:35 ~ 17:50**

懇親会 (情報交換会)**18:00 ~ 20:00**

ラウンジヤマネ

ポスター発表

- P-1 荒木 靖人 (ゲノム医学研究センター・プロジェクト研究部門、埼玉医科大学病院・リウマチ膠原病科)
関節リウマチの病態におけるヒストンリシンメチル基転移酵素の役割
- P-2 藤本 舞 (ゲノム医学研究センター・病態生理部門)
活性型 ALK2 発現マウス ES 細胞の軟骨分化誘導
- P-3 池田 和博 (ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門)
エストロゲン応答遺伝子 COX7RP はミトコンドリア蛋白質として乳癌細胞の増殖を制御する
- P-4 岩佐 健介 (埼玉医科大学医学部・薬理学教室)
プロスタグランジン F2 α FP レセプター阻害剤はクプリゾン誘導多発性硬化症モデルマウスでの脱髄と運動機能障害を減少する
- P-5 岩佐 健介 (埼玉医科大学医学部・薬理学教室)
抽出物 X におけるマウスでのアミロイド β 蛋白と作業記憶への影響
- P-6 梶原 健 (埼玉医科大学病院・産科婦人科)
アンドロゲンは絨毛細胞の子宮内膜脱落膜化細胞への浸潤を促進する
- P-7 加藤 英政 (ゲノム医学研究センター・TR 部門)
再現性の良い神経誘導を起こしうる真のヒト分化多能性とは
- P-8 川端 英孝 (ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門、虎の門病院)
乳癌における多遺伝子アッセイと臨床病理学的諸因子との関係について
- P-9 木下 善仁 (ゲノム医学研究センター・ゲノム科学部門)
ミトコンドリア内メチル化制御異常とミトコンドリア呼吸鎖異常症の関連
- P-10 神田 将和 (ゲノム医学研究センター・TR 部門)
ミトコンドリア呼吸鎖異常を伴う 144 症例の包括的ゲノム解析
- P-11 宮本 阿礼 (ゲノム医学研究センター・病態生理部門)
マウス筋組織由来細胞を使用した FOP における軟骨分化の新しい実験系の確立
- P-12 宮良 晶子 (ゲノム医学研究センター・プロジェクト研究部門、国際医療センター・婦人科腫瘍科)
uPA 依存的腫瘍溶解性センダイウイルスベクターの卵巣がん治療への応用
- P-13 宮崎 利明 (ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門)
APP は前立腺がんの細胞増殖と転移を調節する
- P-14 水田 誉人 (ゲノム医学研究センター・病態生理部門)
非骨誘導性の TGF- β ファミリーの細胞内シグナルを検出する新規ルシフェラーゼレポーターの確立
- P-15 二橋 望 (ゲノム医学研究センター・遺伝子治療部門)
アルブミンまたはオステオカルシン遺伝子座に蛍光マーカーをノックインした線維芽細胞の樹立：
ダイレクトリプログラミングへの応用に向けて

- P-16 西本 正純 (ゲノム医学研究センター・RI 実験施設)
真獣類の発生過程における Per2 と CKIε の発現は概日リズムの形成に重要である
- P-17 太田 尚志 (ゲノム医学研究センター・遺伝子治療部門)
新規アデノウィルスベクターの作製
- P-18 大久保 正彦 (ゲノム医学研究センター・ゲノム科学部門)
Pax6 は NFATc1 による TRAP プロモーターの転写活性を低下させることで骨吸収を抑制する
- P-19 奥村 俊之 (ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門)
RPL31 による p53 経路を介したビカルタミド耐性前立腺がん細胞の増殖制御
- P-20 佐藤 航 (ゲノム医学研究センター・遺伝子情報制御部門)
内分泌療法耐性乳がんを標的とした核酸薬による転移がん治療効果
- P-21 嶋村 由美子 (ゲノム医学センター・TR 部門)
下咽頭癌細胞株におけるドセタキセル、シスプラチン、5-フルオロウラシルの薬剤感受性/耐性に関与する候補遺伝子の解析
- P-22 田邇 祐喜 (ゲノム医学研究センター・TR 部門)
ターゲットリシーケンス法による家族性大腸がんを標的とした既知遺伝子の臨床診断
- P-23 徳澤 佳美 (ゲノム医学研究センター・ゲノム科学部門)
ミトコンドリア呼吸鎖異常症の新規原因遺伝子の同定と機能解析
- P-24 土橋 尊志 (埼玉医科大学病院・眼科)
加齢黄斑変性の表現型と遺伝子型との関係
- P-25 塚本 翔 (ゲノム医学研究センター・病態生理部門)
Smad9 は BMP シグナルの新しいタイプの転写抑制因子である
- P-26 柳下 聡介 (埼玉医科大学医学部・薬理学教室)
内在性タウのリン酸化を亢進させた新たな神経変性疾患モデルの作製
- P-27 山本 梓司 (埼玉医科大学医学部・薬理学教室)
環状ホスファチジン酸はクプリゾン誘導脱髄モデルマウスの神経脱髄および運動障害を抑制する
- P-28 菅原 泉 (ゲノム医学研究センター・ゲノム科学部門)
ダブル蛍光標識ヒト iPS 細胞を用いた β 細胞分化誘導の解析
- P-29 横尾 友隆 (ゲノム医学研究センター・実験動物施設)
Betagenin による膵 β 細胞増殖・分化に与える影響